

新・アジサイだより

日本共産党青森県議会議員
安藤はるみの



戦争法

怒り煮えたつ

9月来る

(はるみのワクワク川柳)

9月10日 県議会報告会行う

46人の方々においでいただき議会報告会を行いました。主に6月議会の一般質問についてお話をし、質問や意見・要望をお聞きしました。参加者から「学校管理職研修で自殺へのリスクマネジメント対応がおこなわれている現状」「高校生に政治と自分たちの生活のかかわりについて教えてほしい」「青森県の原子力施設の危険性主張し、同時に新しいエネルギー活用について取り上げてほしい」などの声が寄せられました。



8月19日

商工労働観光エネルギー委員会で質問

●大間原発の適合性審査の状況と使用済MOX燃料再処理の見通しは
原子力立地対策課長「原子力規制委員会の審査が9回開催されている。事業者である電源開発は当年11月の審査終了を目指したいとしているが大変厳しい状況。再処理については、プルサーマルの実施状況や使用済みMOX燃料の発生状況など今後の動向を踏まえて検討されていく」と答弁。
MOX燃料再処理の見通しもない中、世界で例を見ない危険なフルMOXの大間原発は動かしてはなりません。

●電源三法交付金の27年度及びこれまでの交付実績を問う(原発推進の為に付られた交付金で電力会社が電気料から集めて払う税金で交付されます)
原子力立地対策課長「平成27年度は県に約37億円、立地及び周辺市町村に約11.7億円。総額で約15.4億円。これまでの累計では県に約60.6億円、立地及び周辺市町村に約24.19億円。総額302.5億円」と答弁。再質問で交付額は2年前の発電量で決められるが、運転中止中の東通原発も運転しているとみなす考えの「みなし

高橋衆議院議員と共に「青森県地域医療構想」「医師不足」等について調査

8月25日 県医療業務課(写真下)・つがる市・つがる総合病院へ
8月26日 つがる西北五広域連合職員労働組合へ



高橋衆議院議員、松田県議(左)花田五所川原市議(右)と共に津軽総合病院前で。



交付金」として原発の出力の88%が出されていることが判明。青森県はこの原発マネーに依存するゆがんだ県政が続いています。
●弘前高等技術専門校に給食設備を
労政能力開発課長「改築前は寮利用者に給食を提供していたが、現在は併設の障害者職業訓練校のみの寮となり、そちらも自炊・宅配サービスを選択。一般の利用者は食料を調達できる環境にある」と答弁。安価で栄養価の高い給食を提供すべきと主張しました。
その他、
●核燃料サイクル交付金
●離職者等再就職訓練事業
●本県の夏祭りにおける観光振興について

9月8～9日
委員会で東青・中南地区調査
★ジョブカフェあおもり★青森県産業技術センター工業総合研究所★黒石観光協会★津軽バイオマスエナジー★津軽発電所☆弘前シードル工房kimori★弘前市岩木庁舎へ(写真は水力発電所)



8月18日
新婦人主催「原爆と人間展」へ参加

ほっとタイム
ワクワク調査



今回の委員会調査は為になるものが数多くありとても勉強になりました。いくつか書き留めたいと思います。その前に今回の調査先で元県議の高樋黒石市長や長尾平川市長、中村津軽バイオマスエナジー取締役との再会の場がありました。さて、津軽バイオマスエナジーですが、2014年に平川市も出資してきた木質バイオマス発電事業会社で、2012年開始の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」で実現できた事業です。一度調査に行きたいと思っていました。思っていた以上に大きな発電所でした。ここは間伐材やりんご剪定枝をチップにし、それを燃料に木質バイオマス発電をします。平川市の公共施設でここで発電された電気を使用し年間300万円料金が安くなったそうです。60人の新規雇用を生みだし、今後は焼却灰をセメントの材料に、排熱を利用しマンゴーやぶぐを育てる計画もあるそうです。
また、今回の調査で訪れた津軽発電所の水力発電のしくみや弘前市岩木庁舎で行っている雪室棟(雪を貯蔵)の雪を冷房の熱源とする取組など興味深く調査を行いました。

■皆さんの「ご意見」・「ご要望」をお寄せ下さい。■「生活相談」お気軽にご連絡下さい。8月の相談対応9件。

発行：安藤はるみ

事務所 弘前市宮川2丁目3-2 電話0172-35-7021
10:00~15:00(土・日・祝日休み 留守電対応)

自宅0172-35-2270

Eメール ando.harumi@theia.ocn.ne.jp ホームページアドレス http://ando-harumi.com/

8月のホームページアクセス数
26,291件